
ハーベスト 聖書入門講座

メッセージ: 中川健一

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

第1課 人はどこから来たのか

人はどこから来て、どこへ行こうとしているのか。これが、私が大学時代に考え、苦しんだ問いでした。真剣に人生を考える人ならば、一度はこの問いにぶつかったはずです。この課では、世界の始まりについて、人類の始まりについて、聖書が何を教えているかについて学んでみます。

1. 一般的説明（進化論）

神の存在を考慮せずに、世界の起源について説明しようとするのが進化論です。私も、聖書に取り組み始めるまでは、進化論が真理であることに疑いさえ持ちませんでした。しかし、本当にそうでしょうか。進化論には、いくつかの致命的問題があります。

- ①進化論は仮説であって、証明された真理ではない。
- ②小進化論は可能であっても、大進化は不可能である。
- ③進化論では、すべてが偶然であるため、人生に意味を求めることは無意味である。
- ④科学と聖書とは矛盾しない。矛盾のように見えるのは、科学的説明と聖書解釈の間の矛盾であって、聖書が非科学的なわけではない。

2. 創世記1、2章

ここで、聖書とはどんな本かについて述べておきます。聖書とは、啓示の書、つまり、神が人類に対してご自身を、また、救いの方をを表されたものです。旧約聖書は39巻、新約聖書は27巻からなっています。旧約聖書、新約聖書の「約」は、契約を表しています。つまり、神が人類と結ばれた約束というわけです。ここで、創世記1、2章を何度も読んでください。世界の始まりについて、何が書かれてあるのでしょうか。

(1) 神についての啓示

- ①創造主
- ②絶対者
- ③唯一（三位一体）

(2) 人についての啓示

①創造の冠

②神のかたち

- ・精神的活動
- ・良心
- ・永遠（神）を思う心

(3) 創造の目的についての啓示

- ①人が全地に増え広がり、秘造の世界を支配するように。
- ②人が神との交わりを通し、神を喜ぶように。
- ③人が神の栄光を表すように。

3. 詩篇139篇

この詩篇を何度も味わいながら読んでみましょう。作者は、神と親密な関係にあったことが分かります。あなたも、この詩篇の作者になったつもりで、声に出してこの箇所を読んでください。

- ①すべてを知っておられる神（1～6節）
- ②ともにおられる神（7～12節）
- ③創造主なる神（13～16節）
- ④信頼すべき神（17～24節）

第2課では、神に創造された人類が、どうして苦難に会うようになったのか学んでみましょう。

第1課 問題

1. 科学と聖書とは矛盾するという意見に対して、どのように答えることができますか。
2. 人は、「神のかたち」に造られたとありますが、あなたの考えでは、人と動物の違いは何でしょうか。
3. 進化論の立場に立つのと、創造論の立場に立つのとでは、「人生の意味」についてどのように考え方が変わると思いますか。
4. 詩篇139篇を何度も読んで、次の質問に答えてください。
 - (1) 神があなたのすべてを知っているとすると、それは喜ばしいことでしょうか。あるいは、恐ろしいことでしょうか。感じるままを書いてください。
 - (2) 23、24節を自分の祈りとして、声に出して読んでみましょう。どのように感じたか書いてください。

第2課 人はなぜ苦難に会うのか

神がお造りになった世界は、「非常によかった」とありますが、それでは、この世にはなぜ不幸があり、人は苦難に会うのでしょうか。

1. 一般的説明

- ①因果応報という考え方
- ②神に責任をかぶせる考え方
- ③すべてを偶然とする考え方

2. 創世記3章

創世記3章の記述に注目しましょう。ここには、罪がどのようにしてこの世界に侵入して来たのかが記されています。聖書の記述の中で、罪から解放されているのは、最初の2章（創世記1、2章）と、最後の2章（ヨハネの黙示録21、22章）のみです。

(1) 自由意思

- ①最高の賜物
- ②愛の関係の基礎
- ③誤用の可能性

(2) 神の意図

- ①人が従順を通して成長すること
- ②神との交わりの中で生きること

(3) 人の反逆

- ①罪とは神への意図的反逆
- ②罪とは自分を神とすること

(4) 罪の結果

- ①死（神との断絶）
- ②自己嫌悪
- ③恐れ
- ④責任転嫁
- ⑤自然界の破壊

3. 神の解決策

ここで、神が人類の罪に対して、どのような解決策を考えられたのか見てみましょう。

(1) 創世記3章8～13節

- ①「あなたは、どこにいるのか。」
- ②「あなたが裸であることを、だれがあなたに教えたのか。」
- ③「あなたは、食べてはならない、と命じておいた木から食べたのか。」
- ④「あなたは、いったいなんということをしたのか」

(2) 創世記3章15節

- ①「女の子孫」の約束
- ②サタンと女の子孫との戦いの預言
- ③この説を「原福音」といい、これ以降聖書を読む原則となる。

(3) 創世記3章21節

「神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作り、彼らに着せてくださった。」

この皮の衣とは、神が与える「義の衣」を象徴しています。人が自力で作ったいちじくの葉の衣とは大いに異なります。

第3課では、この「女の子孫」と呼ばれる方がだれなのか学んでみます。

第2課 問題

1. 神はなぜ人に自由意思を与えたと思いますか。

2. 一般的に「罪」という言葉が意味しているものと、聖書が教える「罪」とはどう違いますか。

3. 罪の結果について5つの事を学びましたが、この中で、自分の体験に照らしてうなずけるものがありましたか。簡単に記述してください。

4. 創世記3章15節は、なぜ大切な聖句だと言われているのですか。

第3課 イエス・キリストとは誰か

「女の子孫」の約束は、旧約聖書を貫いて展開されますが、この学びの性格上、創世記以降の旧約聖書を詳しく学ぶスペースがありません。そこで、この課では、すぐに新約聖書に入り、イエス・キリストが約束の「女の子孫」であることを確認していきます。

イエス・キリストは、ある時、弟子たちにこのように質問されました。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」(マタイの福音書 16 : 15)

私たちも、イエス・キリストを誰と言うのか、自分なりの結論を出すために聖書を調べてみましょう。

1. 旧約聖書の預言

イエス・キリストに関する預言の中で代表的なものを選んでみました。

- (1) 処女から生まれる。(イザヤ書 7 : 14)
- (2) 人類の身代わりとして死んでいく。(イザヤ書 53 : 5、6)
- (3) ベツレヘムで生まれる。(ミカ書 5 : 2)
- (4) 釘づけにされて死ぬ。(ゼカリヤ書 12 : 10)

イエス・キリストの来臨に関する預言はすべて成就しました。これは、驚くべきことです。

2. 奇跡の人

- (1) 自然界を支配する。(マルコの福音書 4 : 31 ~ 41)
- (2) 病気を癒し、悪霊を追い出す。(マルコの福音書 1 : 29 ~ 34)

- (3) 死人を生き返らす。(ヨハネの福音書11:4~44)
- (4) 人の罪を赦す。(マルコの福音書2:1~12)

3. 罪のない人

- (1) 弟子たちの証言(ペテロの手紙 第一2:22、23)
- (2) 人の罪のあがないとなる資格(マタイの福音書26:26~29)

4. 愛の人

- (1) 人の命を高く見積もった人(マタイの福音書16:26)
- (2) 人の罪の問題を解決した人(ヨハネの福音書8:31)
- (3) 十字架上で赦しの祈りをした人(ルカの福音書23:34)

5. あなたはイエス・キリストを誰と言いますか。

これは、すべての人が答えなければならない質問です。

- ①嘘つき
- ②精神異常
- ③神の子、救い主

次の課では、なぜイエス・キリストが十字架にかかる必要があったのか学んでみましょう。

第3課 問題

1. イエス・キリストが約束の「女の子孫」であると考えられる証拠は何ですか。
2. あなたは、聖書の中に書かれた奇跡を信じますか、信じませんか。その理由は何ですか。
3. イエス・キリスト以外に罪のない人はいると思いますか。
4. 人の愛と、イエス・キリスト（神）の愛とどう違うと思いますか。
5. この課を学んで、あなたはイエス・キリストを誰だと思いますか。

第4課 なぜ十字架が必要なのか

罪のないお方が、どうして十字架につく必要があったのでしょうか。この課では、人の罪の問題を解決するためにはどうしても十字架が必要であったことを学びます。

1. 創世記3章15節

第2課の学びを思い出してください。「原福音」について学びました。そこには、イエス・キリストの苦難が預言されていました。その苦難とは、十字架の苦しみのことだったのです。

2. 出エジプト記

出エジプト記は、イエス・キリストによる救いを予表しています。

- (1) エジプトでの奴隷状態・・・・・・・・罪の奴隷
- (2) エジプトに対する裁き・・・・・・・・罪に対する裁き
- (3) 小羊の血による赦し・・・・・・・・イエス・キリストの血による赦し
「過越の小羊」　　　　　　　　　　　「神の小羊」

3. 神の計画

- (1) 神の聖さは、罪人を受け入れられない。
- (2) 神の義は、罪人を裁く。
- (3) 神の愛は、罪人を赦す。
- (4) 十字架は、神の聖さ、義、愛を満足させる。

4. 十字架こそ唯一の罪の解決方法

人は、自分の罪責感を処理するために、どんな方法を考えてみましょうか。人の考える方法は、すべて無力であることが分かります。

- (1) 神を無視する。
- (2) 責任逃れをする。
- (3) 他の人と比較をする。
- (4) 償いをする。

罪を赦されるためには、神の側からの一方的な宣言が必要です。

5. 救いに至る4つのステップ

- ①神は愛です。
- ②わたしは罪人です。
- ③十字架は私の罪のためでした。
- ④イエス・キリストを人生の主として心に迎えます。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」(ヨハネの黙示録3:20)

次の課では、十字架につけられたイエス・キリストが、三日目に復活したことを学びます。

第4課 問題

1. 人はどのようにして罪責感の問題を処理していると思いますか。

2. なぜ十字架こそ、唯一の救いの道であると言えますか。その理由を挙げてください。

3. 救いに至る4つのステップを確認しましょう。

	はい	いいえ	わからない
①神は愛であると信じますか。	()	()	()
②自分は罪人であると認めますか。	()	()	()
③十字架は自分のためと認めますか。	()	()	()
④イエス・キリストを信じますか。	()	()	()

第5課 復活は歴史的事実か

ある時、著名な映画解説者が、イエス・キリストの復活をテーマにした映画が放映された後でテレビに現れ、こう解説したのを見て驚きました。「もちろん、この映画にあったイエス・キリストの復活は、神話です。」聖書を真剣に読んだことのない人や、奇跡の存在を初めから否定する人は、客観的証拠を調べようとせずに復活の事実を否定してしまいます。この課では、本当に復活が起こったのかどうか検討してみます。

1. 復活の重要性

(1) 復活はキリスト教の土台です。

もし、それが単なる作り話なら、クリスチャンはもつとも哀れな人々で、ありもしないことに期待を寄せていることになります。しかし、もしそれが真実なら、私たちは死の問題に解答を与えられたことになります。キリスト教は、復活によって立ちもすれば、倒れもします。

(2) 復活と蘇生の違いを理解しておく必要があります。

蘇生とは、死の状態、あるいは、死んだと思われる状態から再び生の状態に戻ることです。蘇生した人は、やがて死にます。これに対して、復活とは、今までとは違う肉体（栄光のからだ、あるいは、霊のからだと呼ばれるもの）によみがえることで、再び死がその人を襲うことはありません。

2. 復活を説明する諸説

イエス・キリストが死んだこと、そして墓に葬られたこと、また、その墓が三日目に空になったことは、一様に認められています。しかし、なぜ墓が空になったかを説明する方法にはさまざまなものがあります。

(1) 墓に行った女たちが、墓を間違えた。

① 婦人の証言は正式には認められない。

② ペテロとヨハネがその後確認している。

③ もし墓が違っているなら、どうして正しい墓を指摘しないのか。

(2) 弟子たちが、死体を盗んだ。

① ローマの兵士たちが番をしていた。(マタイの福音書 28:1~15)

- ②ローマの兵士たちの証言（マタイの福音書 28：13）は信じられない。
- ③人は嘘のためには死ねない。

(3) 弟子たちは、幻を見た。

- ①弟子たちは信じられないのに信じざるをえなくなった。
- ②よみがえりのイエスは、肉体を持っていた。（ルカの福音書 24：36～43）
- ③多くの人が、何度も目撃している。（コリント人への手紙 第一 15：1～8）

(4) イエス・キリストは息を吹き返した。

- ①18世紀になってから考えられた説である。
- ②栄光のイエスが現れたとはとても言えない。
- ③40日後のイエスはどこへ行ったのか。

(5) 事実、復活した。

- ①弟子たちの証言によって判断する方法しかない。
- ②弟子たちは証人として十分信頼できる人格を備えている。
- ③弟子たちの変化は復活が事実であることを抜きにしては考えられない。

3. 復活は何を保証しているか。

- ①罪の赦しの確認
- ②死後の命の保証
- ③キリストによる救いの完成

キリスト教と他の宗教の違いは、創始者キリストが、今も生きていて、救いの計画を完成へと導いておられるということです。「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。」（ヘブル人への手紙 13：8）

次の課では、人類はこれからどこへ行こうとしているのかについて学びましょう。

第5課 問題

1. なぜ復活が事実かどうか、そんなに重要なのでしょうか。
2. 復活と蘇生の違いは何でしょうか。
3. あなたの考えでは、復活が事実であると信じられる理由は何ですか。
4. 復活は、あなたにとって個人的にどんな意味がありますか。

第6課 人はどこへ行こうとしているのか

聖書は、これから世界に何が起ころうとしているのかについても教えています。それは私たちが、現実生活の中で失望したり、あきらめたりすることなく、日々神に信頼して生きるものとなるためです。

これから学ぶことは、非常に難しい問題ですので、簡単な記述にとどめておきます。さらに詳しく学びたい方は、専門書をお読みになることをお勧めします。

1. 人は死んだらどうなるのか。(ルカの福音書16:19~31)

- (1) キリストにより救われた人の霊はパラダイスに、罪人の霊はハデスに行く。
- (2) パラダイスとハデスの間に交流はない。
- (3) 死後の状態を再び変更することはできない。

2. これから何が起ころうとしているのか。

(1) 携挙

イエス・キリストの再臨に関しては、新約聖書では300回以上の言及があります。(25節に1回の割合)

再臨の時、最初に起こることは、携挙です。(テサロニケ人への手紙 第一4:16、17) この時、地上からクリスチャンたちは取り去られます。

(2) 患難時代

七年間の患難時代が訪れます。「獣」と呼ばれる人物が世界を支配し、人々を苦しめます。これは罪人への裁きの期間であります。

(3) ハルマゲドンの戦い

(4) キリストの地上再臨

(5) 千年王国

(6) 永遠の天の三国

3. 時は近い

(1) 終わりの兆候

- ①イスラエルの復興（1900年ぶり）
- ②再生ローマ帝国の復興（1500年ぶり）
- ③バビロンの復興（2500年ぶり）

(2) 再臨の時を特定すべきでない。

(3) それでは、いかに生きるべきか。

- ①聖書を読む。
- ②祈る。
- ③証しの生活をする。
- ④教会に出席する。

第6課 問題

1. キリストの再臨が確実に起こると考えられる理由は何ですか。

2. あなたの考えでは、世の終わりは近いと思いますか。またその理由は何ですか。

3. 再臨の日時を定めることは正しいですか。正しくないですか。またその理由は何ですか。

以上で、ハーベスト聖書入門講座を終わります。さらに、聖書を詳しく学びたい方は、お問い合わせください。さらに詳しく学べる講座をご紹介します。



【ハーベスト・タイム・ミニストリーズ】
〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘 1-21-85
TEL 055-993-8880 FAX 055-993-8883
<http://www.harvesttime.tv>
